

令和5年度施策評価シート (評価対象年度 令和4年度)

●基本情報

施策名	【8】地域の特性を活かした生涯学習事業の推進	評価番号	3-3-8
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり	
	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備	
担当課(係)	生涯学習課 (社会教育係)	生涯学習課【生涯学習センター】	(庶務係)
担当課(係)	生涯学習課【文化センター】	(庶務係)	()

●施策の方向 ~PLAN~

施策の方向	<p>○地域資源を活かした「生涯学習ボランティアによるまちづくり事業」を推進します。</p> <p>○多様な学習機会の提供を図ります。</p> <p>○小学校児童を対象とした自然体験学習事業や教室などの拡充を図ります。</p>
-------	---

●令和4年度主な取組 ~DO①~

主な取組	①生涯学習推進事業の充実					
取組内容	<p>児童生徒の保護者を対象に安心して子育てができるよう、家庭のあり方、保護者の役割、家庭教育の問題点について学習及び意見交換の場を提供した。</p> <p>新成人を祝福するため、『はたちのつどい』式典を開催した。</p>					
構成事業		事業名(取組名)	評価		事業名(取組名)	評価
	1	音のまちTONE推進事業	現状維持	4		
	2	家庭教育セミナー事業	現状維持	5		
	3	成人式典事業	現状維持	6		
主な取組	②住民ニーズに応じた学習講座の開催					
取組内容	<p>町民の学習意欲を促進するため、住民ニーズにあった参加しやすい学習講座を開催した。</p>					
構成事業		事業名(取組名)	評価		事業名(取組名)	評価
	1	文化センター講座事業	現状維持	4		
	2			5		
	3			6		
主な取組	③子ども体験事業の推進					
取組内容	<p>主に、夏休みに日本伝統文化である茶道・華道・琴等、親子体験教室、自然科学等の講座を開講し、異年齢児童や他校の児童との交流を図ることを目的としています。</p> <p>町の事業として開催することにより、早期に英語に慣れ親しみ、英語に関して興味関心を深めることを目的としています。</p>					
構成事業		事業名(取組名)	評価		事業名(取組名)	評価
	1	生涯学習講座事業	現状維持	4		
	2	英語教室事業	現状維持	5		
	3			6		

主な取組	④移動学習事業の充実					
取組内容	移動学習として自然体験交流事業を実施し異年齢及び他の小学校の児童との交流を図ります。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	利根町子ども自然体験交流事業	現状維持	4		
	2			5		
	3			6		

●事業費 ～DO②～

支出	主な歳出の節		令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）
	内訳	7 報償費	365,500 円	573,000 円	965,932 円
		8 旅費	円	60,450 円	35,100 円
		10 需用費	417,335 円	519,563 円	1,044,665 円
		11 役務費	円	2,500 円	1,520 円
		12 委託料	363,000 円	732,490 円	1,067,000 円
		その他	円	152,010 円	173,600 円
事業費 計		1,145,835 円	2,040,013 円	3,287,817 円	
財源	主な歳入の科目		令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	100,000 円	100,000 円
		地方債	円	円	円
		その他	10,000 円	円	円
		一般財源	1,135,835 円	1,940,013 円	3,187,817 円
事業費 計		1,145,835 円	2,040,013 円	3,287,817 円	

●評価 ～CHECK～

進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 順調 <input type="radio"/> 概ね順調 <input type="radio"/> やや遅れている <input type="radio"/> 遅れている	現状分析	自然体験交流事業を通して、児童の自然体験や異年齢及び他市町村の児童との交流を行うことにより、宿泊体験や自然体験を通じて、学ぶ意欲や自立心、思いやりなど豊かな人間性や社会性を育むことに寄与することができたと考える。 講座事業については、多様な学習機会の提供に努め、個々の学習意欲を促進することができた。 家庭教育セミナーを開催して、家庭教育について、子育ての在り方や保護者としての関わり方等について学習の場を提供することができた。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	自然体験交流事業は、自然にふれる機会や異年齢及び他市町村の児童との交流の機会を図れる数少ない場でもあることから、体験活動の充実を図る上でも今後事業を継続していく必要がある。 講座事業、家庭教育セミナー事業については、地域の学習拠点としての機能するため、多様な学習機会や学習情報の提供に努め、継続的に学習できるよう多様化するニーズや実情に応じた講座や家庭教育セミナー事業内容を創意工夫しながら開催する。
--------	---